

# 1. アンケート調査の概要

## ■今年度のアンケート方法について

- 昨年度に引き続き、2種類のアンケート調査を実施
- 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケートは、ホームページとヒアリング調査で実施

### ① 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート



### ② 事故対策実施区間の評価アンケート



# 1. アンケート調査の概要

## ■アンケートの媒体

調査種別	媒体	実施内容	実施期間
①既存の事故危険区間 や新たな事故危険区 間に関するアンケート	ホーム ページ	・事務所HP「事故ゼロプラン道路利用者アンケート」を改良の上、継続	昨年度～継続中
	ヒアリング 調査	・新潟県内の免許センター及び商業施設でインタビュー形式によるアンケート調査を実施。 ・商業施設：イオン村上東店、イオン上越店 ・免許センター：新潟県運転免許センター、運転免許センター長岡支所	インタビューアンケート 平成30年11月17日(土) 平成30年11月18日(日) 平成30年11月21日(水)
②事故対策実施区間の 評価アンケート	Web	・事故対策実施区間10区間の評価について、新潟県 在住のWebモニターを対象として、インターネットアンケート調査を実施	平成30年12月15日～ 平成30年12月25日



イオン上越店



イオン村上東店



新潟県運転免許センター

## 2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

### ■ 調査概要

- ホームページアンケートとヒアリング調査(商業施設・免許センターインタビュー調査)を実施
- 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケートを実施

### ■ 設問構成

問1. 事故対策未実施区間について 交通事故の危険を感じる区間、早く対策を行った方が良いと思う区間を教えてください。
問2. 事故危険区間以外の区間について 交通事故の危険を感じる場所とその理由を教えてください。
問3. 事故ゼロプランという取り組みを知っていましたか？ ①認知度、②認知媒体
問4. その他、交通安全対策に関するご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。
問5. 属性 ①年齢、②性別、③住所、④利用交通手段、⑤自動車の利用頻度、⑥自動車の利用目的

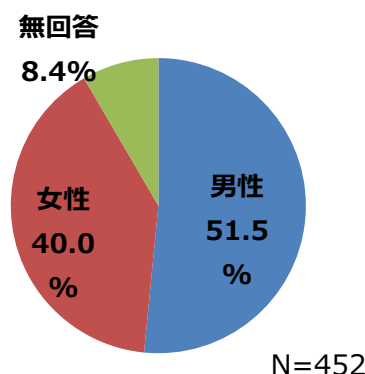
### ■ アンケートの回答数

調査種別	H29年度	H30年度
ホームページアンケート	24件	68件
ヒアリング調査	128件	384件
<b>合計</b>	<b>152件</b>	<b>452件</b>

### ■ アンケート回答者の属性

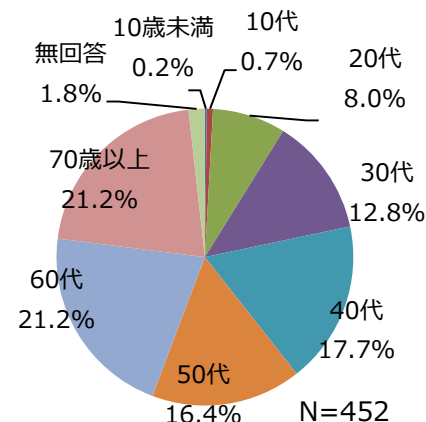
#### ■ 性別

男性が52%、女性が40%



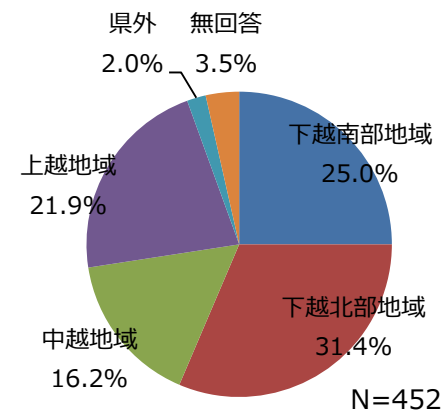
#### ■ 年齢

40～70代が多い



#### ■ 居住地

下越北部・南部地域が多い

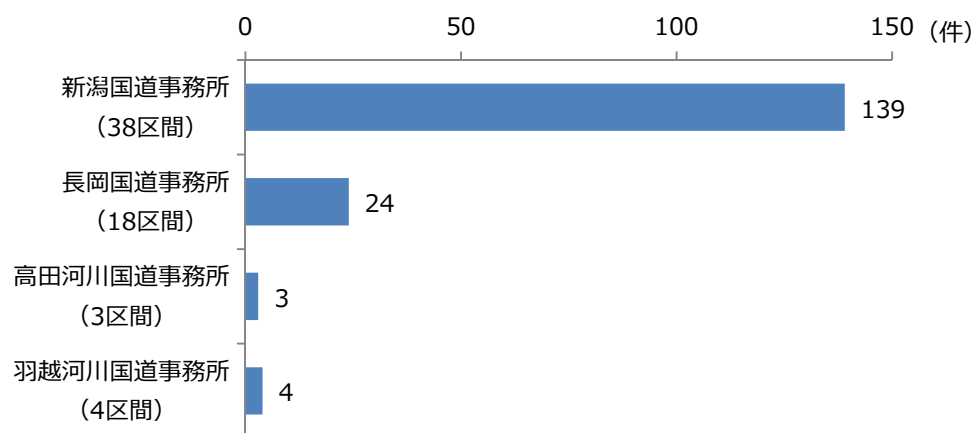


## 2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

### ■未対策実施区間における対策要望について

- 対策要望が最も多かった事務所は新潟国道事務所管内の事故危険区間であった
- 路線別では、国道8号の事故危険区間に対する要望が最も多かった

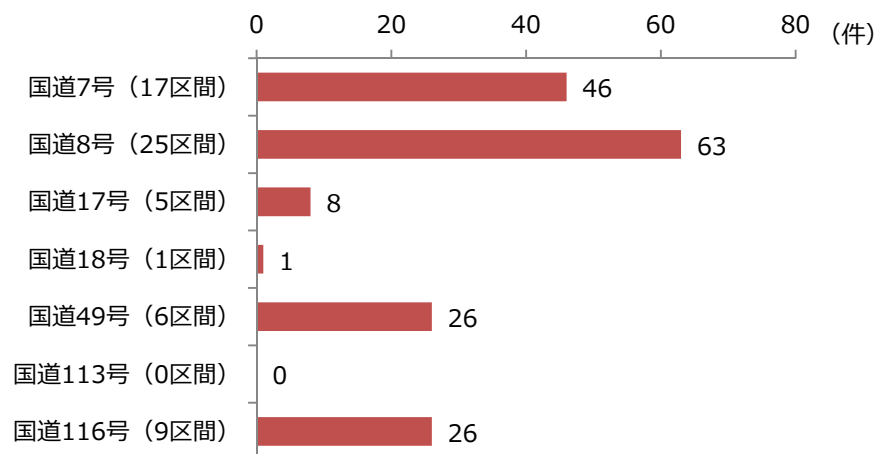
### ■事務所別の対策要望件数



### ■対策要望の多かった区間

順位	区間	路線	区間名	市区町村	合計
1	15	7	紫竹山IC (ランプ部)	新潟市中央区	15
2	19	8	女池IC	新潟市中央区	11
3	18	8	桜木IC	新潟市中央区	10
4	205	8	鳥屋野4丁目～鳥屋野3丁目	新潟市中央区	8
4	177	49	姥ヶ山IC	新潟市江南区	8
6	318	116	亀貝IC	新潟市西区	7
7	51	116	田島交差点～田島入口交差点	新潟市西区	6
8	37	49	弁天橋通2丁目	新潟市中央区	5
8	255	49	茅野山IC	新潟市江南区	5
8	331	49	鶴ノ子IC下り線オフランプ	新潟市江南区	5
11	17	7	柳都大橋南詰交差点	新潟市中央区	4
11	24	8	信濃川大橋西詰交差点～大野町交差点	新潟市西区	4
11	204	8	神道寺2丁目	新潟市中央区	4
11	54	116	小針線山田交差点～平成大橋西詰交差点～平成大橋東詰交差点～鳥屋野交差点	新潟市西区・中央区	4
11	58	116	関屋昭和町交差点	新潟市中央区	4
11	14	7	高浜入口交差点付近	新発田市	4
17	9	7	馬越交差点～笹越橋交差点	新潟市中央区	3
17	328	7	舟入(三)交差点	新発田市	3
17	330	7	星の宮交差点	胎内市	3
17	126	17	川崎南交差点	長岡市	3

### ■路線別の対策要望件数



## 2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

### ■ 事故危険区間のアンケート新規抽出

- 事故危険区間以外で、交通事故の危険性の高い区間について自由回答形式で回答して頂いた
- 今年度のアンケートによる新規事故危険区間は4区間となった

### ■ アンケートによる事故危険区間の新規抽出について

Q. 事故危険区間以外に、交通事故の危険性が高いと思われる区間とその理由を記入してください。

**自由回答形式**で答えてもらい、  
**複数件以上**の回答を頂いた箇所を新規箇所として抽出

**7区間**

- ・隣接区間の統合
- ・管理事務所等の意見照会

H30年度アンケート新規抽出区間

**4区間**

### ■ 参考: アンケートによる新規抽出区間数の経緯

H29年度 新規抽出区間 / アンケート総数  
**0区間** / **152件**

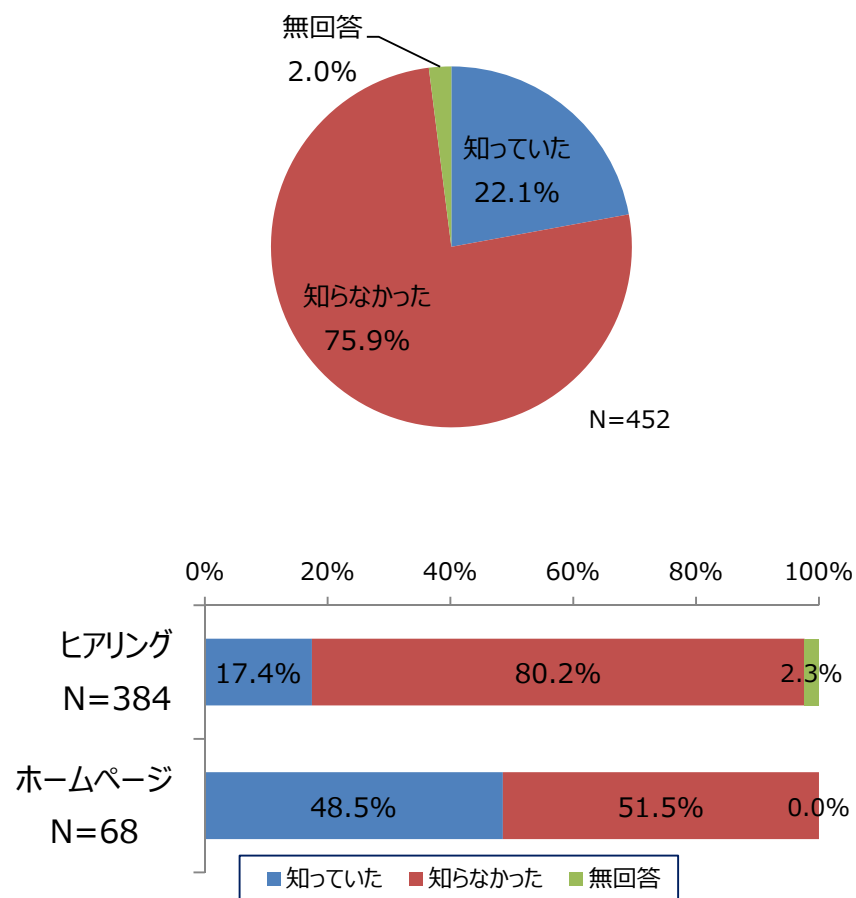
H30年度 新規抽出区間 / アンケート総数  
**4区間** / **384件**

## 2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

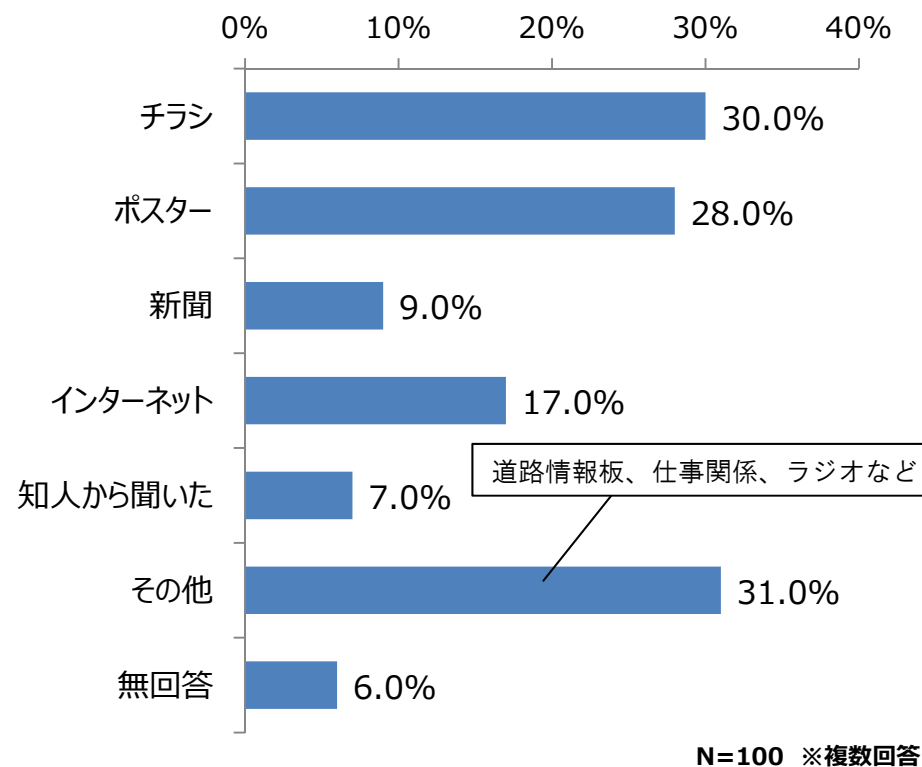
### ■ 事故ゼロプランの認知度・認知媒体

- 事故ゼロプランの認知度は全体で22%
- 調査種別毎の認知度は、ヒアリング調査で17%、ホームページで49%
- 事故ゼロプランの認知媒体は、そのほか最も多く、次いでチラシ、ポスターの順

#### ■ 事故ゼロプランの認知度



#### ■ 事故ゼロプランの認知媒体



### 3. 事故対策実施区間の評価アンケート

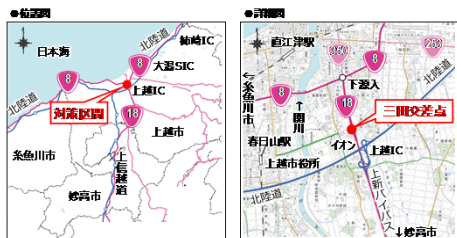
#### ■ 調査概要

- 新潟県在住のWebモニターに対し、対策箇所を1ヶ月に1回以上利用する方を抽出
- 対策内容を認知しているか把握し、事故対策箇所の評価に関するアンケートを実施

新潟県在住の  
Webモニターを対象

#### 事前調査

Q.対象区間の通行頻度をお聞かしてください。



1. ほぼ毎日
2. 週に4~5日程度
3. 週に数回程度
4. 1ヶ月に数回程度
5. 年に数回程度
6. ほとんど利用しない・利用したことがない

#### 本調査

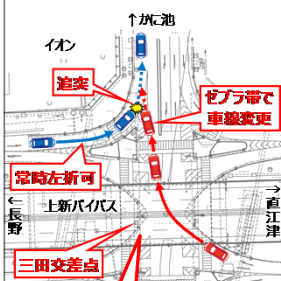
Q.下図に示すような対策を実施しました。ご存知でしたか？

##### ●位置図



##### ●事故発生状況

○上新バイパス長野方面から三田交差点での左折は、常時左折可であるが、その車線に進入する車両が多く、追突事故が発生している。



##### ●対策前



##### ●対策内容

- 合流車両への合流注意標識設置
- 注意喚起

対策箇所や対策内容、効果、写真等を掲載



1. 知っていた

2. 知らなかった

Q.対策によって注意するようになったこと  
(自分の運転の変化)

Q.対策によって減った  
と思う事故危険事象  
(他人の運転の変化)

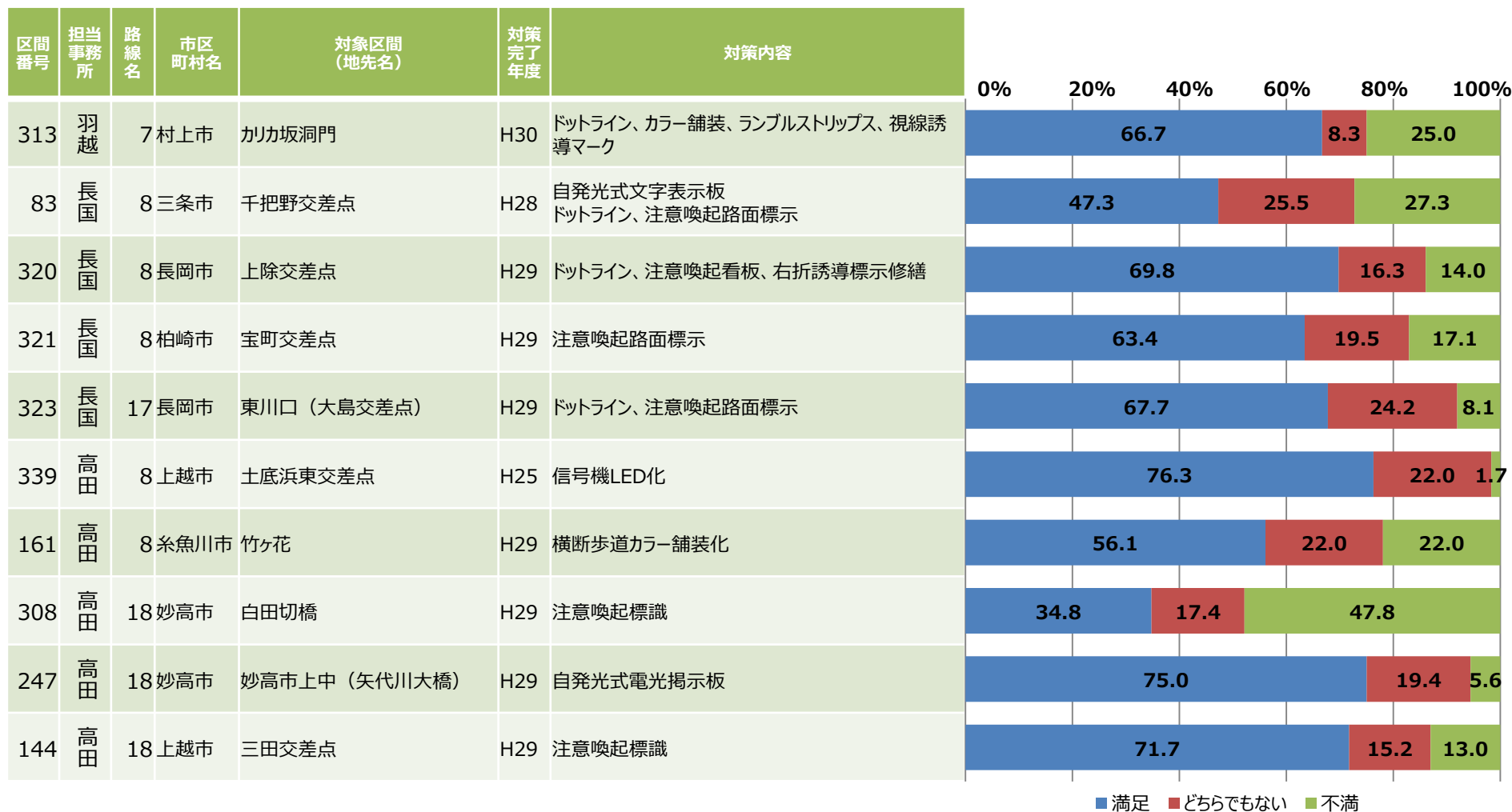
Q.事故対策の評価

Q.自由意見

### 3. 事故対策実施区間の評価アンケート

#### ■ 対策実施済み区間における評価について

- 評価を行った全ての10区間中、「満足」という回答が6割以上が7区間
- 千把野交差点、白田切橋は「満足」という回答が50%未満となった



※対象区間の日常的利用者(1ヶ月に1回以上利用)のうち、事故対策を知っていた方を対象